



2019年度「反核・平和マラソン」へのメッセージ

2019年度「反核・平和マラソン」を開催されるにあたり、日本非核宣言自治体協議会を代表してメッセージをお送りいたします。

皆様におかれましては、“スポーツは平和とともに”をスローガンに連帯の輪を広げ、昨年の「反核・平和マラソン」にも、多くの方が参加されたとお聞きしております。今年もまた、全国各地で開催が予定されており、関係者の皆様のご尽力に心から敬意を表します。

私ども日本非核宣言自治体協議会は、地域住民の安全を守り、世界恒久平和の実現に寄与することが自治体の責務であるという視点から、非核宣言を行った自治体が連携して1984年に設立し、現在、全国341の自治体が加盟しております。

私たちが暮らす北東アジア地域では、北朝鮮の非核化に向けた動きに注目が集まっています。当協議会では、住民が安心して暮らせる地域社会の実現のため、「北東アジア非核兵器地帯」の創設の呼びかけや被爆の実相を伝えるために原爆展の開催の支援などをはじめとした核兵器廃絶を目指した取り組みを行ってきました。

当協議会は、これからも市民の皆様と連携を図りながら、「核兵器のない世界」の実現に向けて粘り強い取り組みを続けて行きたいと考えています。

「反核・平和マラソン」に参加される皆様におかれましても、核兵器の恐ろしさ及び非人道性への理解を深め、一人でも多くの市民の皆様とともに世界恒久平和の実現に向けて、核兵器廃絶への取り組みを続けられますことを期待いたします。

最後に、「反核・平和マラソン」のご成功と、参加される皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。

令和元年5月16日

日本非核宣言自治体協議会

会長（長崎市長） 田上 富久